

一般財団法人日本私学教育研究所主催
令和3年度 全国私立中学高等学校

<私学経営研修会 実施報告(概要)>

65回目となる本年度当研修会は、6月3日(木)～4日(金)、高知県高知市・ホテル日航高知旭ロイヤルにおいて「ニューノーマル時代を切り拓く私立学校～激動の2020年を未来へのチャンスに変える!～」を研究のねらいに開催し、17都府県から52名が参加した。

開会式では、岡村昭一・高知県文化スポーツ部部長による濱田省司・高知県知事の祝辞代読に続いて、岡崎誠也・高知市長が来臨され、歓迎の意と私学教育への期待を込めて祝辞を披露された。全体会では、日本私立中学高等学校連合会・日本私学教育研究所幹部役員による最新の中央情勢に関する講演・報告のほか、松崎了三・高知県公立大学法人高知工科大学地域連携機構特任教授による基調講演、西本正志・高知県文化スポーツ部私学・大学支援課課長による高知県私学の現状と課題について報告が行われた。岡村甫・高知県公立大学法人高知工科大学顧問、橋本和紀・高知学芸中学高等学校校長らをパネリストに迎えてのパネル・ディスカッションでは、研究のねらいをテーマに、新型コロナウイルス感染症への対応や、理事長・校長の役割、探究活動の実践など幅広い内容について事例紹介と提言がなされた。十分な感染防止策を講じて各プログラムを実施し、2日目は「ニューノーマル時代の経営ビジョン」「新しい学びの実現に向けて」「教職員の働き方改革」「選ばれる私学とは」の4つを重点テーマとし、各校が直面する諸課題について語り、経験と課題を共有した。午後は新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった学校視察に代え歴史教育視察を実施し、高知城、高知城歴史博物館、桂浜を巡った。

参加者からは「最新の中央の情勢が理解できた」「学校運営・広報活動のヒントを得た」「高知県私学の状況が参考になった」「21世紀型教育の大切さを知った」「今後の学校経営の参考となる点が多々あった」「他校の状況を知ることができ有意義だった」など各プログラムへ好評が寄せられた。

地元関係者の協力のもと、コロナ禍という未曾有の事態を、私学として新たな挑戦をする好機と捉えるべく企画実施した本年度当研修会は、所期の目的を達成し成功裡に終了した。



研修会の様子。参加者同士の社会的距離を確保し、パーティションを使用するなど、感染防止策を講じて実施した。

○令和4年度私学経営研修会は下記の日程・会場で開催します。ご参加をお待ちしております。

令和4年6月2日(木)～3日(金) 北海道札幌市・札幌プリンスホテル